
可愛いピンクの傘と、地球

のみのみの

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

可愛いピンクの傘と、地球

【コード】

N6102E

【作者名】

のみのみの

【あらすじ】

日本に大型の台風がやってきたその日、ある女の子が飛ばしてしまった、可愛いピンクの傘のお話。

「あっ」

女の子の手から可愛いピンクの傘が飛んだ。

黄色い合羽を着ていたその女の子は、しばらく傘の飛んでいった方を見ていたが、駆け足で家に帰っていった。

最近、熱っぽくなってきた。

こうやって太陽の下にいと、熱が体に籠ってくるような気がする。

丁度その時、可愛いピンクの傘が体に当たった。

それを取り、差してみた。

台風が去った後は、陽射しが強い。だが猛烈な風が吹きつづけている。

道端に転がっている傘や看板が、大きな音を立てながら転がっていく。

〇駅前の広場の端に、可愛いピンクの傘が何かに引っ掛かっているのが見えた。

「T大学では、〇駅前の可愛いピンクの傘で話題が持ちきりだった。

「あれってさ、絶対、地面に刺さってるよね」

「柄の部分が埋もれてるんでしょ。たまたまだよ」

「でもさ、あんな可愛いのを大の大人が差すと思う？」

「うーん、思わないよ」

「でしょー。絶対、変だよ」

ヘリコプターの中で、ニュースキャスターが大声で実況をする。

ただいま、T大学上空にきています。御覧下さい、大きなピンク

色の傘が、〇駅をスツポリと覆っています。この傘は一体何なのでしょうか。ただいま自衛隊が撤去作業をしています。成果は上がっていないようです。一体、誰が、何のために、この様な事をしてるのでしょうか。それとも、これは地球外生命体の仕業なのでしょうか。一部報道関係者は、各国の専門化が集まり話し合いをする、という情報を得ています。住民の為に、早く解決して欲しいです。

日本には、いつの間にか日が昇らなくなった。

朝と夕方のわずかな時間だけ、太陽が姿を現す。

他の時間は、大きなピンクの傘に隠れてしまっている。

夏の涼しい日々が続いた。

久し振りに、東京に雪が降った。何年振りだろう。

電車が止まり、ほとんどの学校は休校となった。

最低気温がマイナス十 を切る事もしばしばあった。

人々は暖房をより使うようになった。

やっと涼しくなってくれた。

すこしだけ、嬉しい。

人間の発明も、役に立つのだな。

ピンクの傘が日本を覆ってから、二回目の夏が来た。

暑い。

最高気温が東北地方でも四十度を越す日が続く。

傘が熱を溜める装置となり、一度気温が上がるとなかなか下がらなくなった。

暑いな。

やっぱり、傘は止めておいた方が良さかもしれない。

人間の発明は、役に立たなかつたな。

地球は、ピンクの傘を投げ飛ばした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6102e/>

可愛いピンクの傘と、地球

2011年1月16日06時12分発行